

ぐんま女性活躍大応援団  
ぐんま学生会議 成果発表

ぐんま学生会議

群馬県立女子大学

群馬大学

共愛学園前橋国際大学



# ぐんま学生会議の概要

- 目的

- 学生会議の目的

- 各大学の特色を活かした、県内で活躍するロールモデルの発掘・取材により、今後の進路・キャリアについて考える
- 取材をもとに県に提言を提出

- 人権男女・多文化共生課の目的

- 学生の提言を活かした男女共同参画推進政策や女性活躍推進施策を展開

- 学生の活動

- 訪問インタビュー先の選択と取材調査

- 県内大学の女子学生による意見交換・県への提言

# ロールモデルインタビュー 内容

## 女性活躍推進制度

(活躍促進する制度や周知方法)

## 支援

(周囲からの物理的・精神的支援...)

## 意識

(上司の方、本人、周囲の方...)



# ロールモデルインタビュー（群馬県立女子大学）

◆訪問先 東京海上日動火災保険 群馬支店

◆取材相手のお名前 齋藤由紀子さん  
業務グループ 課長代理

◆活動内容

県内の営業担当部署の支援、地域型営業担当社員の  
研修の企画・運営等

# ロールモデルインタビュー（群馬県立女子大学）

## 印象に残った回答

**Q.** 仕事と家庭を両立しながら働き続けることは大変だと思いますが、そのやりがいは何でしょうか。

**A.** 何歳になっても、日々自分が成長できるという実感がある点がやりがいになっていると思います。

**Q.** 御社ならではのWLBの制度は？

**A.** 東京海上では復職支援制度も充実、応募型のUターンとIターン勤務もあり、女性のキャリアアップも支援してくれます。



# ロールモデルインタビュー（群馬県立女子大学）

## 活躍する女性が考える群馬の魅力

保育園に入りやすく、車での移動も便利  
→育児しやすい環境  
東京に比較的近く、且つ自然にも恵まれている



## 女子学生へのアドバイス・応援メッセージ

これから社会に出ると様々な事があると思いますが、無駄になる経験は一つもないと思いますので、自身の成長のためにも頑張ってください。また、女性はライフイベント等で仕事が中断することがありますが、時期がきたらまた復帰して社会と関わってほしいです。

# ロールモデルインタビュー（群馬県立女子大学）

## 取材のまとめ

- \* 応募型のUターン異動に挑戦、東京本社での勤務経験有り  
会社全体で女性の活躍をサポート
- \* 女性社員の割合が予想以上に高い  
女性社員も活躍中
- \* 産休・育休から職場復帰もスムーズ

## 感想

会社の制度を利用し、仕事と生活(育児)を両立しながら、キャリアアップを目指して働いている姿が印象的でした。  
女性の活躍とは、コツコツと積み上げることだと実感!

# ロールモデルインタビュー（群馬県立女子大学）

## ◆ 訪問先

株式会社アペックス（事業：商品輸入・販売・企画）

## ◆ 取材相手のお名前

芳子ビューエルさん  
取締役社長

## ◆ 活動内容

テレビショッピングなどで商品（北欧の生活雑貨等）を輸入、販売、企画する会社を経営中



# ロールモデルインタビュー（群馬県立女子大学）

## 印象に残った回答

**Q.** どうすれば女性が職場や社会で活躍しやすくなると思いますか。

**A.** 男性の意識だけでなく、女性自身も信念、ポリシーをもち、キャリアマインドを持って仕事をして行かなければならないと思います。

**Q.** 会社のトップとしてやってきて良かったと思うことは何ですか。

**A.** 自分の決断でどうにでも出来るところです。また、いつ辞めるかを自分で決められるので、続けたければずっと続けることが出来る点です。

# ロールモデルインタビュー (群馬県立女子大学)

## 活躍する女性が考える群馬の魅力

程よく東京に近く、  
手軽に行けること  
(本社機能は高崎、  
販売の中心は東京)



## 女子学生へのアドバイス・応援メッセージ

大変なことはたくさんあるけれど、

あまり突き詰めて物事を考えないこと。

突き詰めすぎると何も続きません。

けれど仕事は継続することが大切です。

# ロールモデルインタビュー（群馬県立女子大学）

## 取材のまとめ

- \* 子育て中の社員個人の生活スタイルを考慮した勤務時間の調整  
性別に関係なく働きやすい環境づくり
- \* 女性の起業とグローバルな仕事の可能性  
性別に関係なく、キャリアマインドを持つこと

## 感想

女性がどのような意識を持って仕事をするべきか、  
いかにして仕事と生活を両立させるかなどなど、今後の  
キャリアについて考える際の参考となりました。  
とてもパワフルな方で、私たち学生も刺激を受けました。

# ロールモデルインタビュー（群馬大学）

◆ **訪問先** 食環境衛生研究所 研究検査部

◆ **取材相手のお名前**

山田 早季さん 宮木 寛子さん 岸田 拓也さん

◆ **活動内容**

食の安全をモットーとした  
畜産と食品の検査



# ロールモデルインタビュー（群馬大学）

## 印象に残った回答

**Q** . 学生時代と入社後で仕事や仕事を続けることについての考え方に変化はありましたか？

**A** . 大学の時は就職して分析のプロになるということだけを考えており、結婚、出産のことは全く考えていませんでしたが、今は結婚、出産のことも考えるようになりました。



**Q** . どうすれば女性が職場や社会で活躍しやすくなると思いますか。

**A** . 一番はチームワークが大切だと思います。チームで何かあったら助けるといようなチームができていれば働きやすくなると思います。

# ロールモデルインタビュー（群馬大学）

## 活躍する女性が考える群馬の魅力

- 静かで、仕事でうまくいかない時外に出るだけで気分転換になる。
- 生活する部分で費用が少ない。

住みやすい！！

## 女子学生へのアドバイス・応援メッセージ

学生の時思っていた社会で働く自分と実際働いてみた自分とではギャップがあるとは思いますが、それもいい意味でのギャップが多いと思います。

社会に出たら、お金をもらう立場ですので、産休、育休の権利を使う以上、帰ってきて欲しいと思ってもらえるような人材になれるように頑張ってください。

# ロールモデルインタビュー（群馬大学）

## 感想

- 会社や各事業部でチームワークをととても大切にしており、お互いを支え、尊敬し合う姿勢が感じられた。
- インタビューを通し、得られたことを積極的に活かし、就職活動や今後の働く姿勢に役立てていきたい。



# ロールモデルインタビュー(群馬大学)

## ◆ 訪問先

正田醤油株式会社 開発部

## ◆ 取材相手のお名前

竹澤奏子さん, 畑中祐美子さん

## ◆ 活動内容

スープやドレッシング等の液体調味料全般の企画開発



# ロールモデルインタビュー(群馬大学)

## 印象に残った回答...

Q . 仕事をするうえで心がけていることは何ですか。

A . 人の気持ちを推察するためのコミュニケーションです。開発職は専門分野での研究のみならず、工場の方や社内の営業マン、先方のお客様が何をどうしたいのかを話をすることにより詰めていくこと、そしてその先に何があるかを想像して自分で考えることを大切にしています。

Q . どうすれば女性が職場や社会で活躍しやすくなると思いますか。

A . 家庭環境が違くと家庭と仕事のバランスも違うため、産前・産後休暇、時短制度などの制度を、それぞれの人に合わせて運用していくことを会社側と共に模索していくことができれば、次の世代に繋がられると思います。



# ロールモデルインタビュー(群馬大学)

女子学生へのアドバイス, 応援メッセージ…



こういう話を聞く機会を  
有効に活用してもらい  
いろいろ見て自分の  
いい道を見つけてください。

女性だから男性だからというのは  
あまり意識せずに仕事と家庭  
トータルで自分がどうしたいか  
どうなりたいのかを考えていけると  
ちょっと見方が変わると思います。

# ロールモデルインタビュー(群馬大学)

## 感想...

食品業界ではユーザーに女性が多いということもあり、女性の開発、研究者が多いことにととても納得しました。また、自分のビジョンをよく考えることが仕事を選ぶときには大切であることを学びました。



# ロールモデルインタビュー (共愛学園前橋国際大学)

## ◆ 訪問先

町田酒造

明治16年創業

130年以上の歴史を持つ

## ◆ 取材相手のお名前

町田恵美さん

## ◆ 仕事内容

杜氏として日本酒の醸造を行う

町田さんは杜氏になられて2年目で

全国新酒鑑評会にて**金賞**を受賞！



# ロールモデルインタビュー (共愛学園前橋国際大学)

Q.杜氏となる際の周囲の反応はいかがでしたか。

A.お客さんの反応...最初はあまり良くない時があった。  
「違うところで買うよ」と言われたことも。  
その後杜氏2年目にして全国品評会で**金賞**を受賞

Q.これまでのキャリア形成において、周りの方が  
力になってくれたというエピソードはありますか？

A.両親のサポート(子育て)  
同じような年代の女性杜氏の  
集まり(全国20名ほど)で  
元気をもらう



# ロールモデルインタビュー (共愛学園前橋国際大学)

Q.女性が社会・企業で活躍しやすくなると思いますか？

A.女性には、キャリアを積むこととあわせて、  
結婚・子育てをしたいという気持ちもある

**うまく両立できると良い**と思う

保育園等のサポートを利用  
やる気をもってキャリアを  
充実させる



# ロールモデルインタビュー (共愛学園前橋国際大学)

## 女子学生へのアドバイス・応援メッセージ

家業を継ぐという選択肢もよいものです。地元に戻ってきて、小さい頃から知っている方と一緒に子育てや生活をしていくのも、すごくよいものです。家業を継ぐと大変なこともあります。自分で工夫して変えていくこともできるので、家業を継ぐのも良いと思います。

## 学生の感想

数少ない女性杜氏さんから、貴重なお話をいただけて光栄でした。伝統を守りながら新しいものを作り出し成果を出していることが素晴らしいと思いました。その成果は、お客様一人一人の声や地域、家族の支えがあってこそだと知りました。皆で支え合うことが、女性がより社会進出していくための大きな一歩であると感じました。

# ロールモデルインタビュー (共愛学園前橋国際大学)

## ◆ 訪問先

前橋市立筑井小学校

## ◆ 取材相手のお名前

山口紀子さん(校長先生)

## ◆ 仕事内容

校長先生として人事等の管理職業務や  
広報業務、小学校の今までの歴史の引継ぎを行う



# ロールモデルインタビュー (共愛学園前橋国際大学)

Q.女性のキャリアアップを支援するような制度が教育委員会にはありますか。

A.子どもが小さいうちは部分休業を取得できるほか、予防接種に連れて行きたい場合等も休みを取ることが可能であるなど、**子育てと両立しながら働ける制度が整っています。**



# ロールモデルインタビュー (共愛学園前橋国際大学)

Q.お仕事を続ける上でのサポートについて教えてください。

A.先輩のサポートや、困難な場面で共に協力しあった教師仲間が存在がありました。声をかけてくれた方、黙って陰から支えてくれた方、色々な方のサポートのおかげで、「一人じゃない」と感じる事ができ、様々な困難を乗り越えてくる事ができました。

しかし、子ども達が毎日笑顔で過ごしていることが何ととっても一番の元気の源です。  
子どもの力はすごいです。



# ロールモデルインタビュー (共愛学園前橋国際大学)

Q. 先生が考える群馬県の良いところ・魅力は？

## A. かかあ天下と空っ風

群馬県の方は、さばさばとしていて、外部からの人やものをすんなり受け入れてくれるようなおおらかな風土があるように思います。

特に群馬の女性は本当に働き者です。

「群馬のかかあは天下一」なのではないでしょうか。

# ロールモデルインタビュー (共愛学園前橋国際大学)

Q. どうすれば女性が社会で活躍しやすくなると思いますか。

A. 男だから、女だからではなくて、**できる人ができることをする**  
**という考え方になっていけば良いのでは。**そのときに得意な  
人が、必要なところで必要なことをすればよいというスタンスが  
広がっていけば、協力を惜しまない仲間意識が広がり、  
組織としても成長していくのではないのでしょうか。

## 学生の感想

筑井小学校は女性だから・男性だからという大きな壁がなく  
女性の職員も働きやすい環境であり、様々な場面でこの環境が  
広がればよいと感じました。山口先生は本当に熱心に  
学校のことを考えている、素敵な校長先生でした。



# 学生からの提言



- 取材したロールモデルの方々の共通点
  - 会社や上司、周囲の方々とコミュニケーションを取りながら、ワーク・ライフ・バランスを上手に取っていたこと
  - 自分に合った活躍方法(就業など)を継続していたこと
- より働きやすい環境づくりが次の課題
  - 「育孫」に関わる制度も